

## 春播きトウモロコシ「ゴールドデントKD580」の熊本県における品種特性

「ゴールドデントKD580」(RM108)は、多収性及び耐病性に優れ、熊本県における春播きトウモロコシの品種として有望である。

農業研究センター畜産研究所飼料研究室(担当者:北浦日出世)

## 研究のねらい

本県における飼料用トウモロコシについて、新たな優良品種の早急な普及を図る目的で、販売中もしくは数年以内に市販開始予定の新品種を中心に収量性やその他の諸特性について調査し、本県の奨励品種である「ハイオア108日(34N84)」を比較品種として、これと同等以上の能力を有する品種の特性を明らかにする。

## 研究の成果

1. 「ゴールドデントKD580」の播種から収穫適期までの日数は、平均113日で、4月上旬に播種した場合、8月上旬に収穫できる(表1)。
2. 「ゴールドデントKD580」は、比較品種と同程度の病害虫への抵抗性と耐倒伏性が期待できる(表2)。
3. 「ゴールドデントKD580」は、比較品種と同等の乾物収量が期待でき、本県における飼料用トウモロコシ品種として有望である(表3、図1)。

比較品種: 過去3年間の試験データに基づき、熊本県で奨励品種に指定されている品種

## 普及上の留意点

生育状況および収量については気象・土壌環境の変化による影響を受けるため、施肥管理や適正な時期における播種を徹底すること。

表1 生育特性に関する結果

品種	系統	相対熟度 (RM)	播種から	初期生育	稈長	着子穂高	着子穂高 /稈長
			収穫適期 までの日数				
ゴ-ルト-テ-ントKD580		108	113	1~9極良	cm	cm	%
ハ-イ-ア108日	34N84	108	112		265.5 *	126.4 *	47.6 *
					248.4	106.4	42.9

- 1) 数値は調査年の平均
- 2) \*間には有意差あり(p<0.05、T-test)
- 3) 播種期は、平成29年4月5日、平成30年4月3日および平成31年4月2日。
- 4) 栽植密度は667株/a、1区は12㎡とし3反復で実施した。
- 5) 施肥量は、N:1.5kg/a、P205:1.5kg/a、K20:1.5kg/a。
- 6) 収量調査は、絹糸抽出期から38日目を基準とした。

表2 倒伏性、病害抵抗性に関する結果

品種	系統	倒伏	折損	害虫	紋枯病 罹病率
		%	%	%	%
ゴ-ルト-テ-ントKD580		0.1	0.0	6.5	10.6
ハ-イ-ア108日	34N84	1.6	0.0	5.2	8.8

- 1) 数値は調査年の平均
- 2) 比較品種との間に有意差なし(T-test)
- 3) 虫害はイネヨトウによる倒伏
- 4) 試験ほ場は、連作により紋枯病が発生している。

表3 乾物収量に関する結果

品種	系統	乾物茎葉 収量	乾物雌穂 収量	総乾物 収量	総乾物率
		kg/a	kg/a	kg/a	%
ゴ-ルト-テ-ントKD580		101.2 *	92.2 *	193.4	30.9
ハ-イ-ア108日	34N84	91.9	105.2	197.1	33.3

- 1) 数値は調査年の平均
- 2) \*間には有意差あり(p<0.05、T-test)

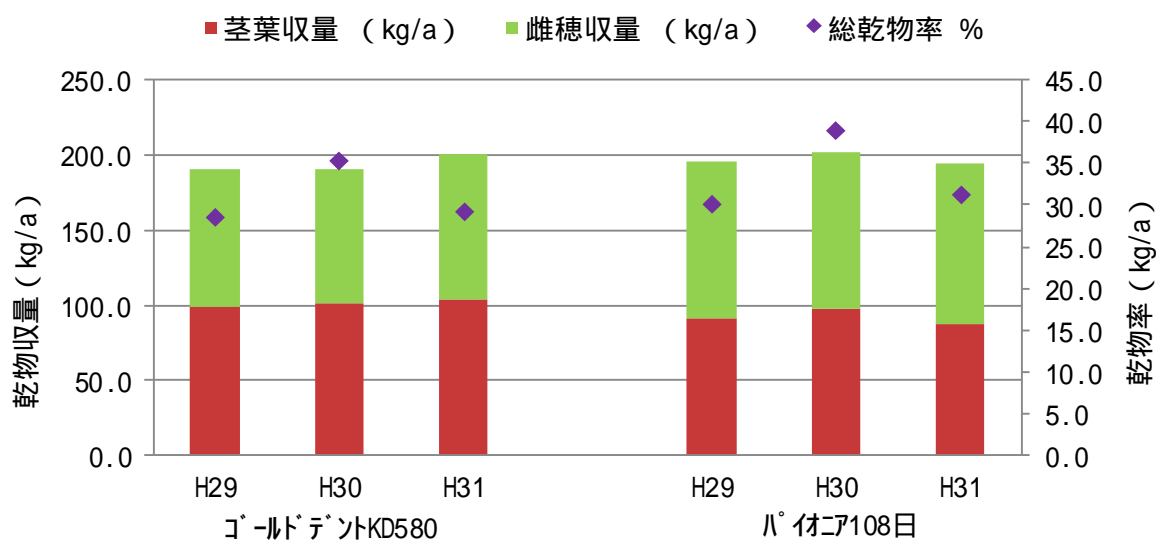


図1 品種ごとの3カ年の茎葉乾物収量、雌穂乾物収量及び総乾物率